

1年	課題分析	授業改善策	新学習指導要領に向けて	評価(◎○△)
国語	<p>○書くことに苦手意識をもつ児童が多く、読むことや書くことの指導に時間がかかる。</p> <p>○漢字の定着に個人差が見られる。</p> <p>○自分の考えの理由をに時間がかかることがある。</p>	<p>○読解のスキルを分かりやすく身に付けられるように、スモールステップの学習を取り入れる。また、単元ごとに身に付けたい力を絞って単元計画を考え、年間を見通して積み上げる。</p> <p>○言語活動「それぞれの立場から考えを伝えるなどして話し合う活動」を多く取り入れ、意欲につなげ、思考力、判断力、表現力を育てていく。</p> <p>○様々な形式の書く活動を意図的に取り入れ、基礎的なスキルの向上とともに、伝える楽しさを実感させていく。書き慣れることと、語彙を増やすことを目的として、日常的に日記や短作文に取り組むようにする。</p> <p>○授業の中では、新出漢字の習得時に言葉広げなどをして、語彙力とともにスキルを高めていく。また、個人の能力に合った漢字練習法を提案し、自分に合った方法を身に付けさせる。</p>	<p>【言葉による見方・考え方】言葉の意味・関係、使い方などに着目しながら、スモールステップで文章を書いたり、メモしたりするなど自分の思いや考えを言葉で表現する活動を多く取り入れる。</p> <p>【対話的な学びの視点からの言語活動の充実のための工夫】ペアやグループ学習を取り入れ、相手に伝わるよう話したり最後まで聞いたりする経験を積ませ、言語活動の充実を図る。</p>	
算数	<p>○問題文から演算決定をするための情報を読み取る力が弱い。</p> <p>○様々な大きさに対する量感が不足しており、単位の換算(m→cm、kg→gなど)が未定着な児童がいる。</p> <p>○身の回りの事象を簡潔に表現するために、グラフを活用できる児童が少ない。</p> <p>○ベーシックドリル診断シートの結果、「式の表し方」「箱の形」の定着に課題があることが分かった。</p>	<p>○他教科での学習に概数の考えを用いたり、生活の中で概数を用いる場面を想起させたりして活用する力を養えるようにする。</p> <p>○問題文をよく読んで、図に整理する学習を繰り返す、元にする量を捉えることができるようにする。</p> <p>○小数の四則計算の反復練習を学習の初めに行い、基礎的なスキルの向上を目指す。</p> <p>○ベーシックドリルを活用し、課題のある領域の定着を図っていく。</p>	<p>【学びに向かう力・人間性】数量や図形に親しみ、算数で学んだことのよさや楽しさを感じながら学ぶ態度を養うようにする。</p>	
生活	<p>【気付き・思いを活動につなげる】</p> <p>○気付きや思いを見取り、活動へつなげる声掛けを適切なタイミングで行うことが難しかった。</p> <p>【友達同士の情報交換】</p> <p>○見付けたものや思ったことを言葉で表現することがまだ難しいため、友達同士での情報交換で広げられたが、十分とは言えない。</p> <p>【社会とのかかわり】</p> <p>○自然や社会との関わりを実感できる学習の場を設定するのが難しい。</p>	<p>【単元構成の工夫】</p> <p>○「気付きや思い」を引き出せる単元構成や声掛け等を意識し、継続して行う。短時間でも振り返りの時間の設定や、次時の活動に触れるなど見直しをもたせる活動を継続させていく。</p> <p>【言語活動の充実】</p> <p>○発表したり、それを聞いて質問をしたりする活動する場面を多く設定するなど、言語活動の充実を図る。</p> <p>【季節・地域・行事を考慮する】</p> <p>○単元計画、指導計画を立てる際に季節や地域・学校の行事を考慮したものにしていく。</p>	<p>【学びに向かう力・人間性等】自然に親しみ、理科の見方・考え方を働かせ、見直しをもって観察や実験を行い、その結果を基に考察し、結論を導き出すなどの問題解決の活動を充実させる。</p>	
音楽	<p>○拍にのってリズムを演奏できない児童がいる。</p> <p>○正しい音の高さで歌ったり、友達と声を合わせて歌うことができない児童がいる。</p>	<p>○児童の思いや考えを大切し、体を動かしながら曲の雰囲気を感じ取ったり、演奏をして確かめたりする過程を取り入れる。</p> <p>○友達と声や音を合わせて演奏する楽しさや協働する楽しさを感じ取れるよう、楽曲の選択や指導方法を工夫する。</p>	<p>【思考力、判断力、表現力等】「考えたこと」に加え、「選択・判断したこと」を文章で記述したり資料などを用いて説明したり、話し合ったりする力を養う。</p>	R2夏完了
図画工作	<p>○「感性や想像力を働かせ」て、「表現したり鑑賞したりする」資質・能力を、スパイラルに育成する必要がある。</p> <p>○思考力・判断力・表現力等を高め、「主体的・対話的で深い学び」を実現するために、学習の場面で言語活動か、非言語活動を意識して取り組む必要がある。</p> <p>○生活を豊かに美しくする造形や美術の働き、美術文化についての理解を進める学習を充実させる必要がある。</p>	<p>【内容】○「表現・鑑賞」全ての造形活動に「造形遊び」の要素を取り入れ、児童が楽しく主体的に活動できる中で、感性や想像力を育てていけるようにする。</p> <p>○鑑賞の対象の幅を広げて「生活の中の造形」等、作品以外にも「鑑賞」の目を向けられるように育てる。</p> <p>○【共通事項】アの、形や色などを造形的な視点でとらえられるように、一部に“知識”も用いる。</p> <p>【指導】○「A表現」の指導にあたり、児童が自分の良さや可能性を見出せるようにする。</p> <p>○楽しい内容で、主体的な活動ができるようにする。</p> <p>○言語活動を「B鑑賞」のみから、「A表現」でも扱う。</p>	<p>○図画工作科においては心と体を使って(触れたり、)感じたりする体験や、人との関わりを通して良さや価値を実感する活動を重視している。「主体的、対話的で深い学び」の視点に立ち、活動と学びの関係性や、活動を通して何が身についたのかという視点から、学習・指導の改善・充実を進める。</p>	R2夏完了
体育	<p>【遊具遊びの定着】</p> <p>○遊具での遊びは、経験不足の児童もいるため、個人差が大きい。</p> <p>【基本動作の定着】</p> <p>○走る、跳ぶ、投げるなどの基本的な動きに個人差が大きく、実態に即した課題作りが難しい。</p>	<p>○意欲を高め、技能のポイントを学びやすくするため、学習の場を工夫する。一人一人の目標や課題意識をもって、練習に取り組めるように様々な活動ができるようにする。</p> <p>○授業の前半に、不足する力を補い、基本の動きを高める運動を取り入れる。</p> <p>○良い動きのチームや児童の様子を観察させる。互いに教え合ったり、工夫したりする場を設ける。</p> <p>○スモールステップで取り組ませることを心掛け、運動遊びの楽しさに触れる機会を作る。</p>	<p>【学びに向かう力・人間性等】各種の運動遊びの楽しさに触れ、その行い方を工夫するとともに、考えたことを他者に伝える力を養う。日常生活の中でも、友達との関わり合いや、様々な運動遊びを経験させていく。</p>	